

設 立 趣 旨 書

私が「日本人の海外渡航・現地就職」「外国人の来日・滞在・現地就職」をサポートする団体を設立したいと考えたのは、海外渡航が私の価値観を大きく変えたからです。多くの方々に、海外で視野を広げ、自己成長を実感する経験を持っていただきたい。そして、海外での現地就職を目指した経験から、海外で挑戦する方の就職を支援したいと強く思いました。

今後も多くの方に海外渡航していただきたいと考えますが、近年、経済的な側面、また世界各国で「移民」や「留学生」の受け入れを見直されていることから、これからより海外渡航・現地就職が困難になると想定しております。海外に渡航してみたい、と思ったとしても上記の事象から実現できず、機会損失が増える可能性があります。

私たちの団体、Red Look は『Making World Connection With Skills(世界中の人と人をスキルで繋いでいく)』というパーパスを軸に、上記の社会的課題に向き合い、常に国際情勢や各国の情報を捉えつつ、世界中の海外挑戦する方を支援していきます。現地での就職に必要な、ビザ、スキル、ネットワーキング（人脈）の3つの要素の中でも『スキル』に重点を置き、現地、及び国内でも海外で現地就職できることを目標としたスキルを取得できる環境づくりを目指していきます。そして、国内の渡航予定者と外国人が互いに情報交換ができる機会を積極的に設け、良好な国際関係を作り上げ^ていきたいと存じます。

これまでの活動として、日本、カナダ、ドイツにテックコミュニティ（ウェブサイトやモバイル等の開発する方向けのグループ）を設立し、運営を約2年行い、150回以上のイベントを開催し、1500人以上のメンバーが集まりました。技術面

接で問われるプログラミング言語を用いたアルゴリズム問題やポートフォリオと呼ばれる個人的に開発したウェブサイト・モバイルアプリ・ゲーム等を互いに見せ合い、意見交換をするイベントを定期的に続けております。今後の活動として、世界的に求められているスキル（例えば医療、教育、AI 等）に着目し、多くの人をサポートできるように活動幅を広げていく次第です。

なぜ、任意団体や他の法人格ではなく、特定非営利活動法人を設立しようとしたのかにつきましては、元々我々の団体、Red Look は完全無料のコミュニティとして活動を始めているため、いきなり営利を求める法人格にしてしまうと多くの既存メンバーが離れてしまう可能性を懸念しているからです。特定非営利活動法人の、コミュニティとしての活動イメージに近い形で運営してきたため、これまでのコミュニティの雰囲気を残しつつ、今後の活動に力を入れていきたいと思えます。

最後になりますが、海外渡航を本格的に始めた 20 歳からここまで積み上げて参りました。多くの方に支援していただき、今回このような道に進めることを大変嬉しく思います。今後も、より多くの人々の海外挑戦・渡航・現地就職を支援していきたいと存じます。

2025 年

5 月

22 日

法人の名称 特定非営利活動法人 Red Look

設立代表者 赤見悠太郎